

～本質を探究し、相談しあえる仲間をつくる～

ロジスティクス研究会

2025年度参加メンバー募集

*旧名称:ロジスティクスシステム研究会

開催日程

2025年5月20日～2026年3月17日
全11回開催予定

開催形式

集合開催（東京）

※当協会の会議室（東京都港区）でのご出席を原則とします。
※業務都合等の場合に限り、オンラインでのご出席も可能です。

- ◎参加メンバーの取り組み事例をベースとした問題・課題の発表と意見交換
- ◎業種・業態、担当業務・役職等を超えた、多様なメンバーとの交流
- ◎最新の経営課題や、新技術の社会実装を題材としたグループ討議

ロジスティクス研究会について

ロジスティクス研究会は多様な業種・業態のメンバーが集まり、メンバー自身が抱えている課題や自社をとりまく環境の変化への対応策等を共有する研究会です。

参加企業各社におけるロジスティクスに関する課題等の年間約20テーマについて、メンバー及び外部から招いたゲストスピーカーを交えて課題研究・情報交換を行います。

本研究会はフランクなコミュニケーションを維持しながら、討議においては率直な発言を積み重ねてメンバーの見識向上を図っていく“道場のように切磋琢磨する場”です。

問題の発見と解決のヒントを掴む場

ロジスティクス研究会

【ビジネス環境】

- ・SDGs、地球環境保全
- ・人手不足
- ・地政学リスク、経済安全保障
- ・企業・事業再編、M&A
- ・テクノロジー進展
……など

【メンバーの関心事に取り組む】

- ・他社における取組状況
- ・各業界における動向
- ・新技術、先進的な事例

【対応すべき課題】

- ・DXによる変革
- ・物流関連2法の改正
- ・企業間のトレードオフ
- ・グローバル再編
- ・人材への投資
……など

発表・討議

新たな知見・ノウハウの習得
業務における問題・課題のブレイクスルー
人的ネットワークの構築と協業

参加のおすすめ

本研究会は、各社の月次の事例発表と年間テーマのグループ研究から成っていますが、どちらも参加メンバーの闊達な討議により事例・研究テーマの本質に迫っていく運営を心掛けています。対象はロジスティクスを軸にSCM、先進改革戦略・方策としています。

事例発表においては、1テーマ約80分で、発表時間半分、討議時間半分を目安とし、意見・質問・討議を屈託なく行います。グループ研究では、昨年はDXを設計問題としてとらえ、ワークデザインやシステム設計技法を学び、その活用によりグループ単位で自らDXを作ってみるアプローチをしました。発表や研究は、いずれも“道場のように切磋琢磨する場”でテーマの本質に迫る討議を目指します。

参加者は継続・新規の方が混在していますが、毎回それを意識することはない環境です。

ビジネス環境は、不確実に起こる経営衝撃への備えと対応が必須となっています。そのために、社内・個人での研究・検討だけでなく、外の多くの仲間の専門知識、見識に触れながら、対象の本質をつかみ、活用する力を向上し、自ら戦略・方策を考え、それを自社に持ち帰り役立てることこそが本研究会の目指すところです。

ためらわず積極的に意見を交わし、実力をあげ、相談しあえる仲間もつくりましょう。

ロジスティクス研究会 主査
経営・SCMコンサルタント（元コマツ物流 社長、コマツ 物流企画部長） 田村 耕司

参加メンバー

過去の参加企業例

(株)アセットソリューション	シンフォニアテクノロジー(株)	(株)トラフィックレンタリース
アビームコンサルティング(株)	親和パッケージ(株)	日本貨物鉄道(株)
伊藤ハム米久ホールディングス(株)	住化ロジスティクス(株)	日本電信電話(株)
インターシステムズジャパン(株)	セイノーホールディングス(株)	(株)ハンナ
SBSリコーロジスティクス(株)	大成建設(株)	(株)日立製作所
カリモク家具(株)	つばさホールディングス(株)	日野自動車(株)
(株)紀文フレッシュシステム	テルモ(株)	(株)ブリヂストン
キリングループロジスティクス(株)	帝人物流(株)	(株)Blue Rocket
コヒーレント・コンサルティング	デロイト トーマツ コンサルティング(同)	(株)ベネッセコーポレーション
ジョーンズラングラサル(株)	東芝デジタルソリューションズ(株)	ホンダ運送(株)

※過去の参加企業は当協会ホームページよりご確認いただけます。

参加企業の業種

荷主、物流(運輸、倉庫、3PL 等)、不動産、ロボティクス、IT、コンサルティング 等

参加メンバーの所属部署・役職

新技術開発、事業・戦略企画、ライン業務担当 等
役員、マネジャー、企画スタッフ、実務担当者 等

参加メンバー代表者より

本研究会には、多様な業種・業態のメンバーが集まり、それぞれの知見を持ち寄って議論を深めています。毎月、各メンバーが抱える課題や自社を取り巻く環境変化への対応策をテーマに発表を行い、多角的な視点から意見交換を行います。他メンバーの新たな発想に触れることで、実務に活かせる示唆を得られる場となっています。

11月の「集中討議」では、メンバーが関心を寄せるテーマを抽出し、事前準備を経て2日間にわたる議論を展開。日常業務から離れ、ロジスティクスやビジネス構造を俯瞰しながら、テーマについて深掘りを行います。グループディスカッションを通して多くの気づきが得られる貴重な機会です。

また、有志による懇親会もあり、プライベートな悩みや情報交換ができる「フランクな雰囲気」も本研究会の魅力のひとつです。立場や業界を超えた交流を行っております。

新しい知見を得たい方、視野を広げたい方、業界を超えたネットワークを築きたい方にとって、大変有意義な研究会です。ぜひ、ご参加をお待ちしております！

ロジスティクス研究会 企画委員会 委員長
セイノーホールディングス(株) 貴名 忠好

2025年度活動プログラム

■ 開催日程 全11回開催予定／開催時間14:00～17:00(第7回を除く)

第1回	2025年 5月20日(火)	第2回	6月17日(火)	第3回	7月15日(火)
第4回	8月19日(火)	第5回	9月16日(火)	第6回	10月21日(火)
第7回	11月 集中討議(2日間) ※日程は別途調整	第8回	12月16日(火)	第9回	2026年 1月20日(火)
第10回	2月17日(火)	第11回	3月17日(火)	※日程は変更となる場合があります。	

■ 主な活動内容

プログラムは「**メンバーによる発表とディスカッション**」を中心に行います。また、メンバーのご関心を踏まえて現場見学やゲストによる講演等も実施いたします。各種企画のご提案も承っているほか、自社拠点への見学の受け入れやゲストのご紹介等を依頼する場合がございます。

✓ **メンバーによる取り組み事例発表とディスカッション**

メンバーが有するお悩みや課題についてご発表いただき、全員でディスカッションを実施します。多様な切り口によるディスカッションから、課題解決の糸口を見つけることができます。

過去の発表テーマ例

ホワイト物流の推進運動の取り組み	アーム型ロボット活用によるピッキング作業の自動化について
ASNユニット検品の導入拡大と課題	2024年問題を商機と捉えたチルド食品の共同配送(外販)の更なる拡大
WMS端末では対応しにくい出荷ミスの削減対策とドライバー拘束時間短縮の取り組み	国内二輪完成車市場減少下における輸送効率の改善と課題
物流センターのデジタルツイン実現までの距離と必要性	物流DX後の世界 ～コスト削減とBCP対策で2度おいしいGX～
RFID導入による物流改善事例と物流DX	物流不動産の今
原料調達フロー再構築と課題	“置き”サービスについて
リチウムイオン蓄電池 貯蔵用耐火性収納箱の開発	青果卸売業務のDXに関する取り組み

✓ **集中討議**

集中討議では特定のテーマについて討議し、その結果について発表やディスカッションを行います。日常の業務から一歩離れ、自由な発想でアウトプットを行う機会を提供します。

過去の集中討議テーマ例

【企業研究】 強い企業のビジネスモデルを本質で捉える	【失敗要因と成功モデル】 2024年問題への対応に向けた共同輸送のあり方
【DX推進上の問題・課題と解決策】 サプライチェーン/SCM、倉庫、輸配送のDX推進を阻む要因と、ブレイクスルーのためのアイデア	【新たなシステムの実装の試み】 デジタル技術を活用した新たなシステムの検討と社会実装を見据えたアクションの整理

✓ **企画委員会**

メンバーから5名程度の方が委員となり、集中討議をはじめとする各種企画の検討ならびに、運営のサポートを行っていただきます。

企画委員会への参画については初回会合にてお伺いします。“立候補”をお待ちしています！

2024年度参加メンバーの声

- 全体的に活発な議論ができたと感じています。現場作業しか携わっていなかった為、物流の現状について様々学ぶことができ、非常に有意義な時間を過ごす事ができました。
- 同じ物流業界でも各社で課題が違うので、別の見方が出来るようになります。そこから自社での取り組みに活用出来ることもあるので非常に満足です。
- 物流と言う観点からみると、DXなど難しい、あまり馴染みのない分野の話題もあり、個人的には難しい内容もありましたが、そのような観点から物流を改めて俯瞰してみるのも面白いと感じたところです。
- 集中討議では、少人数のグループに分かれてディスカッションすることで、意見を言いやすく深掘することもできるので良かったです。他社の方々と意見を言い合える場面自体が無い中でこのような経験ができたことは、面白く、ためになりました。

参加申込規程

■ 参加料 ■

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会会員
参加料 121,000円 (税込/1名)

会員外
参加料 242,000円 (税込/1名)

※全11回の参加料です。但し、見学先等までの交通費は各自負担となります。

■ 参加申込方法 ■

■WEBの場合

当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。

HOME → 事業案内 → 交流会 → 登録制研究会

※当協会のホームページは <https://www1.logistics.or.jp/>
または「JILS」で検索してください。

■FAXの場合

参加申込書に必要な事項を明記のうえ、FAXにて事務局までお申し込みください。

■ 参加定員 ■

30名

■ 参加料お支払い方法 ■

- WEB請求書で請求いたします。
- WEB請求書は原則として派遣責任者のE-mail宛に送付いたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。
- WEB請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
- お支払いは、原則として第1回会合開催前日までにお願いたします。(開催後になる場合は、参加申込書の支払予定日欄に明記してください。)
- 振込手数料はお客様にてご負担願います。

【キャンセル規定】

第1回会合開催7日前～前々日(開催日を含まず起算)…参加料(消費税を除く)の30%
第1回会合開催前日および当日……………参加料(原則として消費税を除く)の全額
※参加申込をキャンセルする場合は事前に問い合わせ先にお申し出ください。

■ 問い合わせ先 / 会場 ■

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 業務管理部
東京都港区海岸1-15-1 スズエベイティアム3階
E-mail: shien@logistics.or.jp

参加申込書

参加申込FAX

03-3436-3190

ロジスティクス研究会

開催日程:2025年5月～2026年3月

フリガナ
会社名・事業所名

- 協会会員
 会員外

参加料のお支払いが第1回会合(2025年5月)開催後となる場合は明記ください。

支払予定日: 月 日 予定

参加者	フリガナ氏名	所属・役職名
	所在地: 干	
	都道府県	
E-mail		

TEL. - -

FAX. - -

協会への連絡事項

受付日	請求日	請求書NO

個人情報の取り扱いについて

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー(<http://www1.logistics.or.jp/privacy.html>)をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡・受講者名簿の作成、および当協会主催の関連催し物のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

AA2531